

市長4期16年の総括



公明党
なかむら
中村

つとむ
努

その他の 質問事項

- ▼ 地域交通網形成計画について
- ▼ 通学区見直しについて

◆ 総合計画の達成状況

問 第四次、第五次総合計画の自己評価は。

答 豊かな心をはぐくむ文化都市、子育てしたくなる街日本一をめざし、改革、創造に挑戦してきた。第四次総合計画は全体を捉えた計画で、118の指標を設定した。その内、達成が61指標、おむね達成が7指標、一部達成が23指標、未達成等が27指標であった。達成度の高い一例は、市民交流センターの利用者数が29年度では68万8千76人と過去最高となり、人づくりから始まる地域づくりが着実に進んだ。第五次総合計画は、多子世帯への保育料の減免、産前産後の母子支援、コミュニティ・スクールの導入、住みよく活躍できる地域の創造を推進し、人口は目標を700人上回り、36%の経済成長、市民所得4・3%の増加となつて成果が出ている。

◆ 塩尻中学校・吉田小学校大規模改修見送り

問 平成30年度当初予算で認められた事業が、国の交付金不採択により本年度の予算執行ができなくなった。議会として看過できない。現場の期待や影響は大きなものがある。来年度も同じことを繰り返すのか。子育て日本一を目指す塩尻市であれば、市単独予算でも予算化すべきだがどうか。

答 2年連続してこのようなことがあつては行政に対する信頼の問題だ。ふるさと納税等も視野に入れ、財源を確保し、31年度事業として実施する。



老朽化した吉田小体育館

広丘西通線・周辺市道の整備を！

その他の 質問事項

- ▼ みどり湖水芭蕉公園の周辺整備について
- ▼ 投票率の減少傾向の対策について

◆ 湯ノ木の坂から広陵中学校西側の市道改良について

問 市都市計画道路西通線が松本歯科大学東まで開通して交通量が急増した。その先の広陵中学校西側市道の早期拡幅整備計画は。

答 新体育館完成前に施工される松本歯科大学東交差点整備と併せて、最重要課題として整備する。

問 交差点が整備されれば、さらに湯ノ木の坂から、広陵中学校西側市道への車両流入量の増加が必至だが、通学路の安全確保は。

答 広陵中学校生徒の通学路の確保のため、歩道の設置など交通安全対策が必要と考える。

問 朝の通勤ラッシュ時には、狭隘な道路により、宅地や畑地に車両が入つて、すれ違いをしている。市道拡幅事業着工までは、待避所等を増設するなどして、現在発生している



湯ノ木の坂から広陵中学校西側の狭隘市道

交通問題に対応できないか。

答 協力いただける用地から優先的に待避所にするなどして、早期整備する。

◆ 広丘西通線の今後の見通しについて

問 市民説明会以後、今後の見通しは。

答 市内の道路整備の中で選択が必要であり、早期の完成は難しい。

問 人口集中地域なので、費用対効果を考慮しても、地元の長年の要望を実現するための市の考えは。

答 必要性は承知しているが、市内の幹線道路整備を優先しており早期完成は難しい。